

旧若杉小学校跡地の 本格活用に関する検討

令和7年1月発行

WORKSHOP NEWS

令和6年1月に策定した「杉並区区立施設マネジメント計画」に基づき、旧若杉小学校跡地の本格活用について検討するワークショップを開催しています。

このワークショップニュースでは、令和6年11月～令和7年2月に全4回開催するワークショップのうち、12月15日（日）に開催した第2回のワークショップの様子をお伝えします。

第2回のゴール

チーム全員が旧若杉小学校跡地の活用方法についての アイデアを出し切ったと感じられている

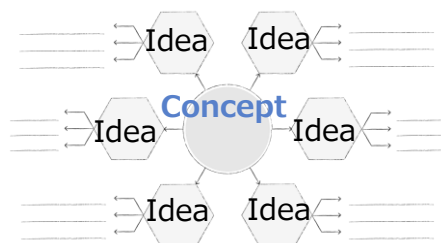
第2回ワークショップでは、「チーム全員が旧若杉小学校跡地の活用方法についてのアイデアを出し切ったと感じられている」というゴールを目指して、活用アイデアが近い参加者同士でグループを構成しました。

ワークショップの前半では、地域の課題として荻窪消防署天沼出張所の老朽化の状況をお伝えするとともに、近隣の天沼小学校・天沼中学校の児童・生徒が考える活用方法、区として考えられる活用方法について情報提供しました（詳細は4面をご覧ください）。後半では、他自治体の事例紹介などを踏まえて、各グループでアイデア発散を行いました。

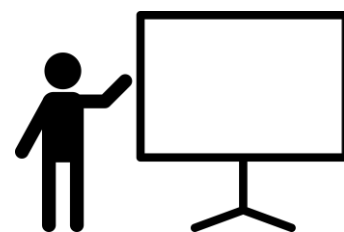
第3回以降は、今回出されたアイデアを基に、コンセプトの設定や検討のまとめなどを行う予定です。



第2回（今回）
具体的なアイデア
の発散

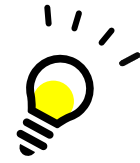


第3回
コンセプトの設定
活用方法の検討



第4回
検討のまとめ
全体共有

旧若杉小学校跡地の活用アイデアを考えよう!



第2回ワークショップでは、第1回に参加者一人ひとりが作成したワークシートの記載内容からキーワードを設定した上で、活用アイデアが近い参加者同士で7つのグループを構成しました。

情報提供などを踏まえて、各グループで「このまちがもっと好きになる、ずっと住み続けたい」「この場所に訪れたい」と思えるような、旧若杉小学校跡地の活用アイデアを付箋に書き出しました。



各グループでたくさんの意見が出ました!

キーワードとアイデア

本ページでは、7つのグループの「キーワード」と各グループで意見として出た「活用アイデア」を紹介します。

	key word	子ども・防災
	idea	<ul style="list-style-type: none"> ・普段は小中学生の居場所となり、いざという時には避難できる場所 ・子ども食堂や発災時に料理の提供が行えるよう、料理ができる場所
	key word	多様な居場所・防災
	idea	<ul style="list-style-type: none"> ・震災救援所機能を備えた、多くの世代が様々な用途で利用できる施設 ・防災のためだけでなく、自然に触れることができる公園
	key word	防災・広いオープンスペース
	idea	<ul style="list-style-type: none"> ・火災時の延焼防止や震災時に様々な対応ができるような、広いオープンスペース ・クリスマスマーケットやマルシェなどイベントができる場所

	key word	文化・学び
	idea	<ul style="list-style-type: none"> ・文化、芸術を目指す若者たちの居場所となるような施設 ・誰でも使える自習室、月に1回誰でも参加できるセミナーなどの開催
	key word	子ども・交流・活気
	idea	<ul style="list-style-type: none"> ・中高校生でも入りやすいカフェ ・不登校に限らない児童・生徒の居場所、多くの若者に利用される公園
	key word	多様な居場所・交流
	idea	<ul style="list-style-type: none"> ・困難を抱える様々な人が集まり、つながれる場所 ・一人でふらっと来ても受け入れてもらえる場所
	key word	にぎわい・交流
	idea	<ul style="list-style-type: none"> ・地元商店や農産物販売などのお店が集まる「道の駅」のような場所 ・誰でも気軽に立ち寄れるオープンコミュニティスペース

グループの意見の全体共有

ワークショップの最後には、各グループで出た意見を全体共有しました。他のグループの発表を聞くことで、新しい意見に触れ、今後の検討に向けて理解を深めました。



参加者の感想

話し合うことで様々なアイデアが出て、気づきが生まれた時間だった



方向性が似ている方々とのグループだったので、活発な議論ができたがもっと話したかった

小学生や中学生の意見を聞くことができとても参考になった

学識経験者からの講評



東京都立大学 建築学科 讃岐 亮 先生

グループワークを通じて、自分の考えや意見に変化が見られた方も多くいたように感じました。

また、出てきたアイデアには「複合」「多様な」という言葉が多くあり、タイムシェアなどを例に「共存・共有」がキーワードとして浮かび上がる様子が見て取れました。

次回以降、各グループでアイデアがどのようにまとまっていくのか楽しみにしています。

情報提供について

アイデアの発散に向けて、以下の内容をお伝えしました。

● 荻窪消防署天沼出張所

令和5～6年度に地元町会を対象に実施した、旧若杉小学校の本格活用に向けた意見交換会において、地域の課題の一つとして「荻窪消防署天沼出張所の老朽化」が挙げられました。ついでには、荻窪消防署の職員から老朽化の状況についてご説明いただきました。

● 天沼小学校の皆さんが考える活用方法

6年生全員が総合の授業の中で、跡地の活用方法を考えてくれました。また、その中から本取組に興味を持った2つのグループが活用方法について詳しく検討し、提案資料を作成してくれました。1つは子どもから高齢者まで幅広い世代の交流の場となるような子ども食堂としての活用、もう1つは広い公園・運動場としての活用を提案してくれました。



▲総合の授業の様子

● 天沼中学校の皆さんが考える活用方法

生徒会役員が中心となって、全校生徒から意見をまとめてくれました。跡地の活用方法として、様々な運動ができる場と勉強したりおしゃべりできるカフェなどが入ったショッピングモールとして活用し、みんなにとっていきやすい場所になるようなアイデアを、ワークショップ当日に発表してくれました。生徒会の皆さん、ありがとうございました！



▲生徒会役員発表の様子

● 区として考えられる活用方法

この間、区では、過去の提言や意見交換会、跡地活用に関する要望などから、天沼地域の課題等を把握してきました。それらの地域課題に加えて、近隣の区立施設の状況を踏まえて、区として考えられる3つの活用方法を説明しました。

🔑 key word

- 防災・オープンスペースの確保
- 子育てしやすい環境・子どもの居場所

💡 idea

- ①公園の整備
- ②上荻保育園の移転
- ③上荻児童館の移転



CHECK

ワークショップ当日の配布資料のほか、区立施設マネジメント計画の内容などについて、区ホームページ（右2次元コード）に掲載しています。



■ 問い合わせ

杉並区 政策経営部企画課
施設マネジメント担当

〒166-8570

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎03-5307-0822